

2023年12月10日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうきょうかい</sup>久宝教会

第66巻第36号(通算3368号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさまがすべてのひととともにおられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、

でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



## 第2アドヴェント礼拝

たいこうせつ だい しゅじつれいはい  
(待降節 第2主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前 奏 黙 禱 AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 147編 12-14節

さんびか ばん しゅ ま のぞ せつ  
賛美歌 21-242番「主を待ち望むアドヴェント」(1-2節) (©JASRAC)

てんとう  
クランツ点灯のことば

せいしよ ふくいんしよ しょう せつ  
聖 書 ヨハネによる福音書 5章 36-40節

いの  
お 祈 り

さんびか ばん きし ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 21-234番「ヨルダンの岸で」(©著作権消滅)

よ せいしよ みずたに けん ぼくし  
メッセージ「どう読む聖書？」 水谷 憲 牧師

さんびか ばん そと  
賛美歌 21-430番「とびらの外に」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん ちち きやうだんさんびかいていいんかい  
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく みずたに けん ぼくし  
祝 福 水谷 憲 牧師

こうそう ばん きやうだんさんびかいいんかい  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほうこく ページ さんしやう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物 (献金)」は受付にある献金箱にお入れください。

<sup>12</sup> エルサレムよ、主をほめたたえよ。

シオンよ、あなたの神を賛美せよ。

<sup>13</sup> 主はあなたの城門のかんぬきを堅くし

あなたの中に住む子らを祝福してくださった。

<sup>14</sup> あなたの領土に平和をもたらし

最上の小麦であなたを満たす。

### クランツ点灯のことば

神様、今私たちは 2 本目のろうそくを灯して礼拝をします。神様が長い間、一人一人を大切にし、守り続けて下さったことを、聖書は証しています。神様の約束は、必ず成し遂げられると信じます。どうぞ、全ての人々の救い主イエスを、私たちの所に遣わして下さい。



聖書 ヨハネによる福音書 5 章 36-40 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>36</sup> しかし、私には、ヨハネの証しにまさる証しがある。父が私に成し遂げるようにお与えになった業、つまり、私が行っている業そのものが、父が私をお遣わしになったことを証ししている。<sup>37</sup> また、私をお遣わしになった父が、私について証しをしてくださる。あなたがたは、父の声をまだ聞いたこともなければ、お姿を見たこともない。<sup>38</sup> また、あなたがたは、父のお言葉を自分の内にとどめていない。父がお遣わしになった者を、あなたがたは信じないからである。<sup>39</sup> あなたがたは聖書の中に永遠の命があると考えて、聖書を調べているが、聖書は私について証しをするものだ。<sup>40</sup> それなのに、あなたがたは、命を得るために私のもとに来ようとしない。

## 《先週のメッセージより》12月3日 第1アドベント礼拝

「神の救いを見る時」より

牛田匡牧師

聖書 イザヤ書 52章1-10節

いよいよクリスマスを待ち望む「待降節」が始まりました。クリスマスは、イエス・キリストの誕生をお祝いする時ですが、「キリスト（救い主・救世主）」と言われても、それらが一体何を意味しているかは分からないのではないのでしょうか。日本語の「すくう」という言葉は、「金魚すくい」などでお馴染みの通り、水の中から物を「掬い上げる」のと同じなのだそうです。また「救い」と訳されているギリシャ語の元々の意味も、「安心」とか「安息」という意味だそうですから、「危機的な状況から助け出されて、安心してホッと一息つくことが出来た状態」というのが、「救い」という言葉の本来の意味なのだと思います。そして今、この世界の中で切実に「救い」を待ち望んでいるのは、パレスチナやウクライナの戦禍の中にいる人たちなのではないのでしょうか。空から爆弾が降り注いでくるこの地上の地獄にあっての人々の切実な祈りは、「神様、どうか助けてください。この地獄から救い出してください。水と食料と横になれる場所、深呼吸できる時間を与えてください」というものなのではないかと想像します。

そのような祈りは、聖書に記されている古代の人々にも共通のものでした。戦争に敗れ、故郷から遠く離れた地に捕虜として連れて行かれた古代イスラエルの人々に向けて預言者イザヤの言葉は告げられました。「自分たちはもう故郷に戻ることが出来ない」と諦め、絶望し、自分で自身の首に縄目をかけてしまっていた人々に対して、そのような縄目を振りほどけ、と。また人々を無償で、奴隷から自由人へと買い戻し解放してくださる神は、絶望の時でも、いつでも、どこでも、必ず共にいてくださる神だ、と。そして必ず来る救いの時、解放の時に、人々は歓声をあげながら、故郷に帰って行く。その姿を見る人々は、神の救いを見るであろう、と。さて、この聖書の言葉は単なる昔話でしょうか。現代でも尚、人類は愚かな戦争を続けており、多くの命が奪われ続けています。目の前で人々が傷つけられ、命を奪われて行く地獄の中でも、本当に神様は共にいてくださるのか。その問いは、私たちにも問いかけられています。「神の救いを見る時」はいつか。もし、それが今であるなら、それはどこにどのようにして見ることができるのか。そのために私たちがなすべきこと何か…。クリスマスまでのあと3週間、世界の平和を求めつつ、クリスマスの意義を自分自身の中で静かに深めていくことができるようにと願っています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (12月3日) 第1アドヴェント礼拝

礼拝出席 大人3名 献金 大人3,000円 中継視聴者数6回 感謝

◎次週 2023年12月17日(日) 第3アドヴェント(待降節第3主日) 礼拝

招きの詞 詩編 19編 8-9節

聖書 マラキ書 3章 19-24節

メッセージ 「御子が生まれるところ」牛田匡牧師

賛美歌 21-231 (©改訂委)、21-244 (©JASRAC)、21-410 (©改訂委)

クリスマスを待ち望む「待降節(アドヴェント)」に入り、毎週の礼拝の中でアドヴェント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。

礼拝後14時~15時にかけて、教会学校の「キッズ・クリスマス」を行います。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれ方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・12月の釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」は、休会です。釜ヶ崎・いこい食堂では毎年12月のクリスマスには、諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当を、お配りしています。今年も日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)から、65食のお弁当を、明日に作ってお届けする予定です。
- ・今年も「クリスマス献金」を集めています。献金先は「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人神戸国際支縁機構」「生活困窮者支援(釜ヶ崎への毎月のおにぎり支援基金、他)」「関西労働者伝道委員会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」の6団体です。各団体の詳細や活動内容については、それぞれの団体のウェブサイトなどを、ご参照ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/17	牛田牧師	(第3アドヴェント礼拝)14-15時キッズ・クリスマス
12/24	水谷牧師	クリスマス礼拝・愛餐会 (おにぎり支援はありません)
12/31	牛田牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式
1/7	水谷牧師	新年礼拝

きょうほうせうかいせうかいがっこう  
**久宝教会教会学校・まぶねっこ**  
**クリスマス会のお知らせ**



もうすぐクリスマスですね。みんな元気にしていますか。ひさしぶりにこども園にあつまって、みんなでクリスマスをお祝いしましょう。

とき 12月17日(日)午後2~3時(1時間くらい)  
 ところ 久宝教会(久宝まぶねこども園の南側)

プログラム 聖書のおはなし、さんびか、ゲームなど  
 水筒をもってきてください。  
 体調不良時はご連絡ください。  
 子どもたちだけのプログラムです。  
 送迎時には駐車場をご利用ください

お申し込みは 日本キリスト教団 久宝教会  
 (久宝まぶねこども園・南側)  
 八尾市久宝寺 6-7-10  
 電話 (072) 992-2131

お申し込みは こちら (13日必切)

**Merry Christmas**



**クリスマス**  
**おめでとうございます**

別よ、あつめが産ごもつて男の子を産む。その名は「イスマエル」と呼ばれる。これは「神は私たちと共にあられる」という意味である。(クハニヨル書1章9節)

クリスマスは、イエス様のお誕生日をお祝います。私達も命を頂いた感謝の日として、心のお休みに町の小さな教会のクリスマス礼拝へいらしてください。

**【クリスマス礼拝のご案内】**  
 2023年12月24日(日) 10:30~11:30  
ウェブサイトにて無料中継配信(申込・登録不要)  
(毎日10:00~こどもの礼拝、10:30~礼拝を行っています)

**日本キリスト教団 久宝教会**  
(久宝まぶねこども園・南側)  
 八尾市久宝寺 6-7-10 電話 (072) 992-2131 八尾 牛田区 ホームページ